OHTAKE

Japan Quality since1968

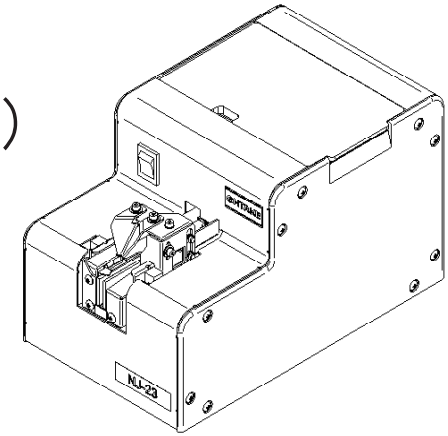
Automatic Screw Feeder

自動ネジ供給機

NJ シリーズ

取扱説明書(メンテナンス編)

・ご使用の前に、この説明書をよく読んでお使いください。
・お読みになったあとは、いつでも見られるところに
大切に保管してください。



ATTENTION：www.ohtake-root.co.jp is the only web site associated with our company.
We do not have any branches in China.

各位顾客请注意！：「www.ohtake-root.co.jp 是敝司唯一的官方网站，
目前，敝司在中国没有办事处与所谓的中国官网。」

注意！：www.ohtake-root.co.jp が当社唯一の HP アドレスです。
弊社の名を騙る偽サイトにご注意下さい。現在、当社は中国国内に支店はございません。

NJ1MAJ02bM

目次

1．本製品の概要 ---------- 1
2．ご使用の前に ---------- 1
3．安全上のご注意 ---------- 2
4．各部の名称 ---------- 6
5．使用前の確認及び調整 --- 7
6．使用方法と動作確認 ---- 12
7．メンテナンス ---------- 17
8．修理を依頼する前の確認 - 20
9．主な仕様 ---------- 23
10．外観図 ---------- 25
11．保証規定 ---------- 26

1．本製品の概要

この度は自動ネジ供給機『NJ シリーズ』をお求め頂き、誠にありがとうございます。
当製品は M2 ～ M5 のネジを整列させ供給しネジ締め作業の効率化に役立ちます。
レール及び通過窓を交換することで、1 つの本体で異なるネジサイズに対応できます。
電源は AC アダプターを使用していますので AC 電源があるところであればどこでも使用できます。

2．ご使用の前に

ご使用する前に下記付属品の確認をお願い致します。

＊取り扱い説明書	1 部	＊ACアダプター	1 組
＊六角レンチ	1 ケ	＊ドライバー	1 ケ
＊アース線	1 本		

※改良のため、予告なくデザイン、性能、仕様等を変更することがあります。

3. 安全上のご注意

この取扱説明書では製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を
未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

◎ 表示について

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負ったり火災などの可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、負傷を負ったり物的損害の発生の可能性が想定される内容を示しています。

◎ 絵表示の例

記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

の場合は「分解禁止」という意味です。

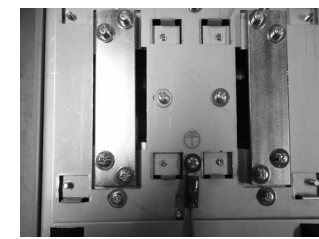
の場合は「ぬれ手禁止」という意味です。

記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

の場合は「電源プラグをコンセントから抜け」という意味です。

は一般的な行為を指示しています。

アース線を接続する場合は、機器の ⏚ マークの近くの
ネジを一旦弛め、アース線を取付けてください。



本体底面

⚠警告

ACアダプターは絶対に分解しないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
また重い物を載せたり引っ張ったり無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災・感電の恐れがあります。

濡れた手でACアダプターを抜差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源は AC100 ～ 240V で使用してください。またタコ足配線は行わないでください。本機を改造しないでください。
火災・感電の恐れがあります。

引火性のガスや発火性の物質がある場所では本機を絶対に使用しないでください。
火災・爆発の原因となります。

本機において、発熱・発煙・異臭がする等の異常状態が発生した場合は火災・感電の恐れがあります。
ただちに電源スイッチを切り使用を中止し、必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。
そして販売店まで修理をご依頼ください。

雷が発生したり近づいている場合は本機の使用を終了して、まず本体の電源スイッチを切り AC アダプターを
コンセントから抜いてください。ただし近くで雷や落雷が発生している場合には危険ですので本機から離れ
本機および AC アダプターには触らないでください。
雷や落雷の発生が無くなった後、本機を点検し異常がありましたら販売店までご連絡ください。

本機のメンテナンス・部品の交換をする場合およびその他危険が予想される場合は安全のため必ず
電源スイッチを切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

⚠注意

付属の AC アダプター以外は使用しないでください。火災・感電の原因になる可能性があります。

本機をぐらついた台の上や不安定な場所に置かないでください。落下したり倒れたりしてケガの原因となることがあります。

本機使用中は必ずカバー上を装着して使用してください。ケガの原因となることがあります。

本機動作中に機体内部に異物を入れないでください。
また本機動作中に機体内部に指などを入れないでください。ケガの原因となることがあります。

本機を湿気やほこりの多い場所には置かないでください。また電源プラグにほこりが付着している場合はほこりを取除いてください。ほこりが付着したまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。

本機を移動させるときは必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

本機の使用終業時と長期間ご使用にならないときは安全のため必ず電源スイッチを切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

AC アダプターおよびコードに無理な力がかからないように電源コードにはゆとりを持たせてください。

レールにキズをつけないでください。レールに油をつけないでください。
定期的なレールの清掃をお勧めします。

規格外のネジ、油やゴミなどでよごれているネジは使用しないでください。

ネジを取出す時に、過度な力・衝撃を与えないようにしてください。

上蓋を開けるときに、無理な力を加えないでください。破損する恐れがあります。

ねじの投入量について（補足）

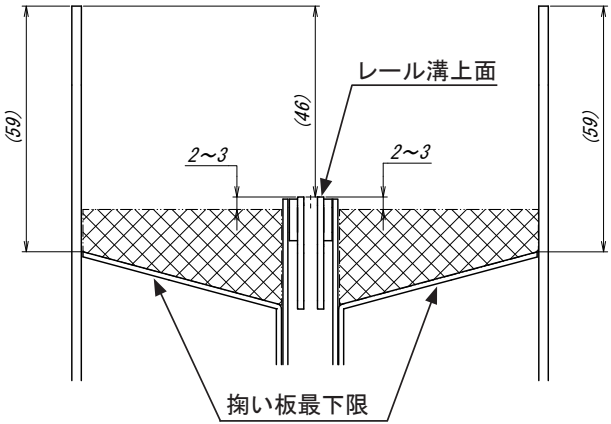
ねじを多く入れすぎるとねじの整列と搬送に悪い影響がでます。

また、機体に過負荷がかかり供給機の故障の原因になります。

取扱説明書に記載しているように掬い板が最下限状態で、

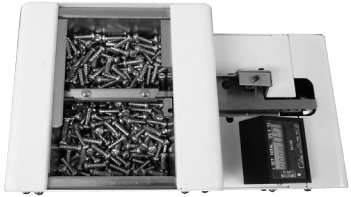
レール溝上面から２～３mmひくい位置までねじを投入してください。

ご注意！

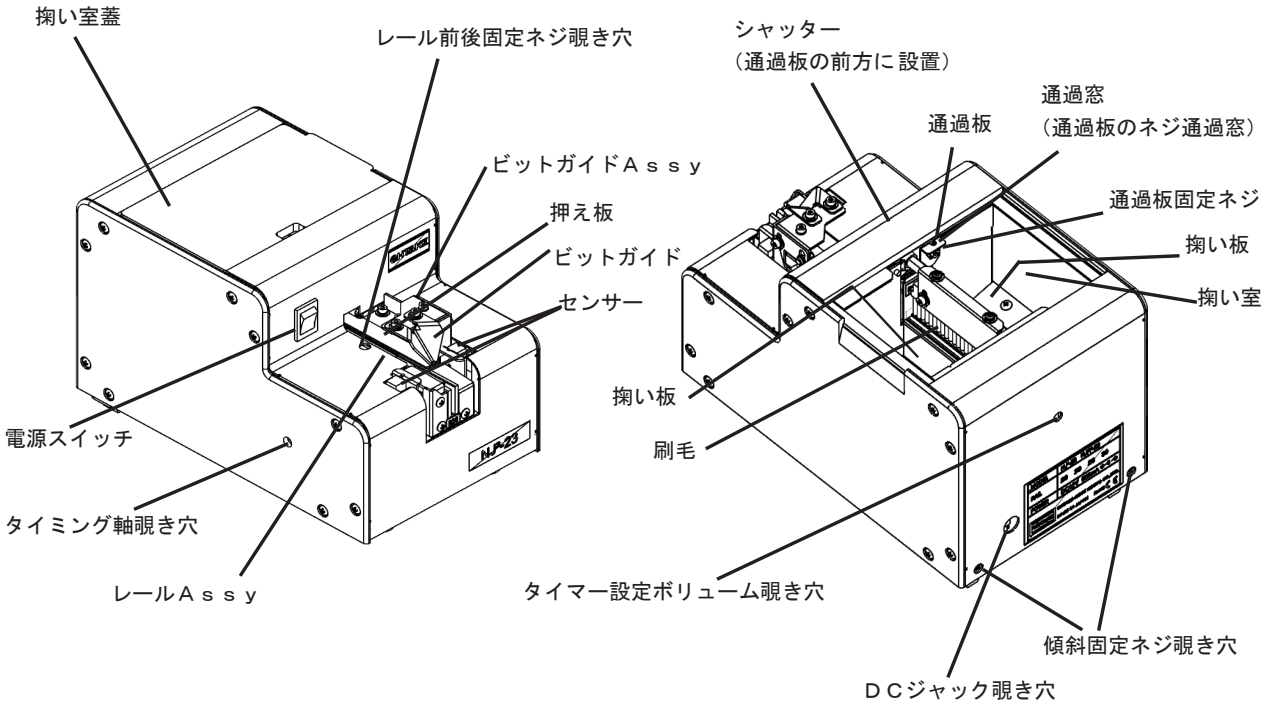


○ ねじ適量

× ねじの入れすぎ



４．各部の名称


掬い室蓋
レール前後固定ネジ覗き穴
ビットガイドＡｓｓｙ
押え板
ビットガイド
センサー
電源スイッチ
タイミング軸覗き穴
レールＡｓｓｙ
シャッター
（通過板の前方に設置）
通過板
通過窓
（通過板のネジ通過窓）
通過板固定ネジ
掬い板
掬い室
掬い板
刷毛
タイマー設定ボリューム覗き穴
傾斜固定ネジ覗き穴
ＤＣジャック覗き穴

５．使用前の確認及び調整

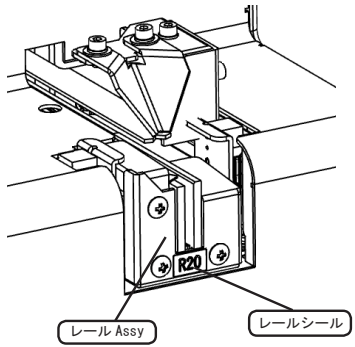
５-1. 本体型式の確認

使用するネジの呼びがお求めになった本体型式に適合しているかを確認のうえ、本機をご利用ください。
本体型式は レールＡｓｓｙ 部分の表示で対応呼び径がわかります。レール Assy 部の表示を確認して使用下さい。

本機は レールＡｓｓｙ・通過板 を交換することで、異なる呼びのネジに対応可能になります。
部品を交換するときは使用ネジの呼びを間違えないようにご使用ください。

本体種類	本体型式	ネジ呼び	レールセット型番	レール型番	通過板型番
NJ-23	NJ-2320	φ2.0	R20SET	R20	W2320
	NJ-2323	φ2.3	R23SET	R23	W2323
	NJ-2326	φ2.6	R26SET	R26	W2326
	NJ-2330	φ3.0	R30SET	R30	W2330
NJ-45	NJ-4535	φ3.5	R35SET	R35	W4540
	NJ-4540	φ4.0	R40SET	R40	
	NJ-4550	φ5.0	R50SET	R50	W4550

注）本体種類の中で、本体型式を変更することができます。
交換用レール、交換用通過板は別売品です。
レールセットには、レールAssy, 通過板が含まれています。



本機は、なべ頭のネジで調整し出荷しています。
使用するネジに応じて再調整が必要なときは使用する前に以下の確認及び調整をしてください。

- ○ 刷毛の確認・調整
- ○ 通過板の確認・調整
- ○ ビットガイド Assy の確認・調整
- ○ レールＡｓｓｙ の確認・調整

⚠注意 確認・調整は電源スイッチを ＯＦＦ にして作業してください。

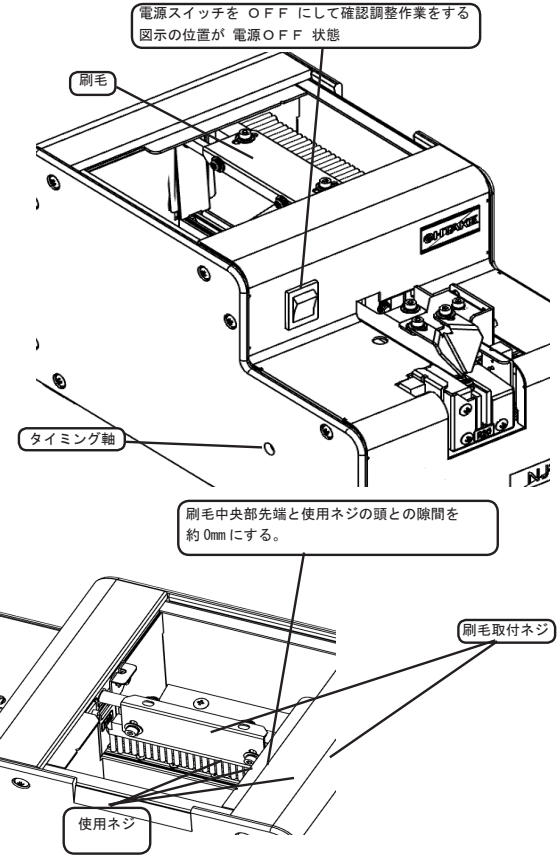
5－2．刷毛の確認・調整

刷毛の高さを確認します。刷毛の位置が右図のように水平になっている状態で確認・調整作業をします。刷毛の位置は付属の六角レンチを使用し、タイミング軸を回して水平状態にすることができます。
レール溝に使用するネジを ２～３個 落とし込み、刷毛の高さを以下のように確認・調整します。
刷毛を水平状態から回転させ、刷毛中央部先端と使用ネジの頭との隙間が 約０mm ならば調整は不要です。

調整が必要なときは以下の調整を行います。

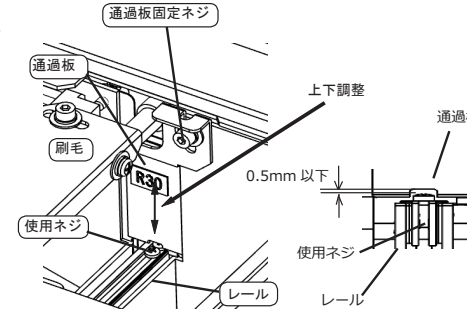
刷毛取付ネジをゆるめます。
刷毛中央部先端と使用ネジの頭との隙間が 約０mm になるように調整します。
このとき、刷毛を下げすぎた調整はしないでください。
調整後、刷毛取付ネジを締め付けます。

調整後、再度刷毛を回転させ、抵抗なくスムースに動くことを確認してください。



5－3．通過板の確認・調整

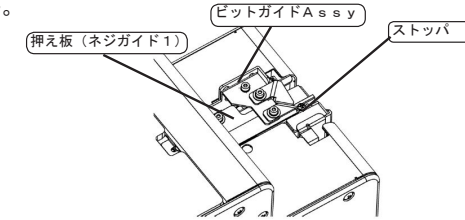
レール溝に使用するネジを落とし込みます。落とし込んだ使用ネジを通過窓部に移動させ、通過板の高さを確認・調整します。
通過窓の上部と移動させた使用ネジの頭との隙間が 約０．５mm 以下で、通過窓を使用ネジが通過可能ならば調整は不要です。
調整が必要なときは以下の調整を行います。
通過板固定ネジをゆるめ通過板を上下動し、移動させた使用ネジの頭と通過窓上部との隙間が 約０．５mm 以下で、通過窓を使用ネジが通過できるように調整します。
調整後、通過板固定ネジを締め付けます。
使用するネジの軸部が比較的短いときは、微調整が必要です。
しかし通常使用の軸部が比較的長いネジでは、おおまかな調整でかまいません。

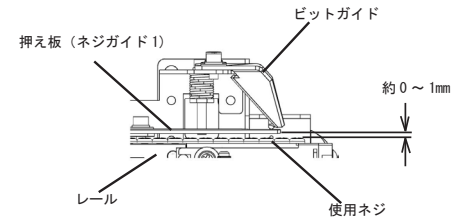


5－4．押え板（ネジガイド１）の確認・調整

レール溝に使用するネジを 10 ヶくらい落とし込みます。
本機を傾けるか、または動作させて落とし込んだ使用ネジをレール Assy のストッパまで移動させます。
シャッターが閉じているとき、または押え板（ネジガイド１）と使用ネジの頭との隙間がないときは使用ネジは移動してきません。　シャッターが開いて押え板（ネジガイド 1）と使用ネジの頭とに隙間があればネジは移動してきます。
隙間が 約０～１mm ならば押え板（ネジガイド１）の高さ調整は不要です。

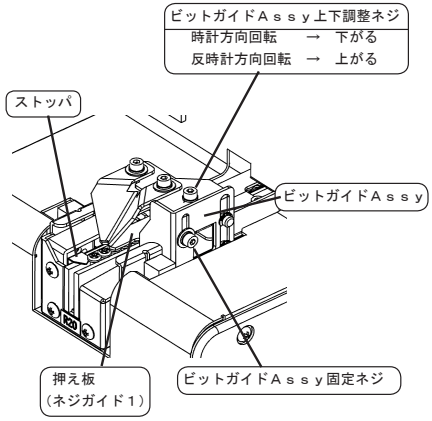
注）本機を動作させ、レール Assy ストッパにネジがあり、
　　本機がすぐに止まる場合は、本機後面のタイマー設定ボリュームで
　　適当な時間設定にしてください。（後述）





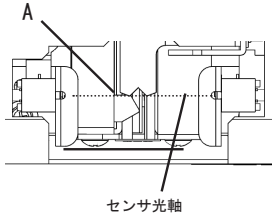
押え板（ネジガイド１）の高さ調整が必要なときは以下の調整を行います。

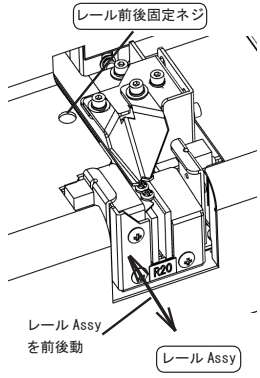
シャッタが閉じているときは、付属の六角レンチでタイミング軸を時計回りに回転させシャッタを開きます。
押え板（ネジガイド１）の高さを調整するときはビットガイドＡｓｓｙ固定ネジをゆるめ、ビッドガイドＡｓｓｙ上下調整ネジを付属の六角レンチで反時計方向に回し、押え板（ネジガイド１）を上方に移動させます。
ビッドガイドＡｓｓｙ上下調整ネジを回転させ押え板（ネジガイド1）と使用ネジの頭との隙間が 約０～１mm になるように押え板(ネジガイド1) の高さを調整します。
調整時には押え板（ネジガイド１）とレールの隙間が平行になるようにしてください。
特に本機体の後側の隙間は前側の隙間より小さくならないように注意してください。
調整後は必ずビットガイドＡｓｓｙ固定ネジを締め付けます。
使用するネジの軸部が比較的短いときは、微調整が必要です。
しかし、軸部が比較的長いネジでは、おおまかな調整でかまいません。



5－5．レールＡｓｓｙ の確認・調整

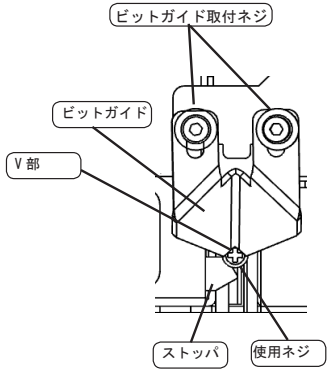
ストッパとセンサーの位置関係を確認します。
- ストッパA 部分がセンサー光軸より 0 ～ 0.5mm 前方になるようにレールが固定されていることを確認します。
- 調整が必要な場合は、レール前後固定ネジを緩め、前後に調整してください。





5-6. ビットガイド の確認・調整

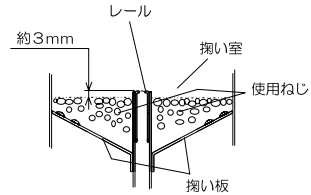
レール溝に使用するネジを 5 ～ 10 個落とし込みます。
本機を傾斜させ落し込んだネジがレール Assy のストッパにぶつかるまでスライド移動させます。
シャッターが閉じているときはネジが通過窓を通過できません。
このときは付属の六角レンチでタイミング軸を時計回りに回転させシャッターが開いている状態にしてください。
押え板とビットガイドのＶ部と、ネジ頭十字溝の後部が合っていたら調整は不要です。
調整が必要なときは以下の調整を行います。
付属の六角レンチでビットガイド取付ネジを弛めます。
ビットガイドの Ｖ部とネジ頭十字溝の後部が合うように、ビットガイドを調整します。
調整後、ビットガイド取付ネジを締め付けます。



６．使用方法と動作確認

６－１．ネジの投入

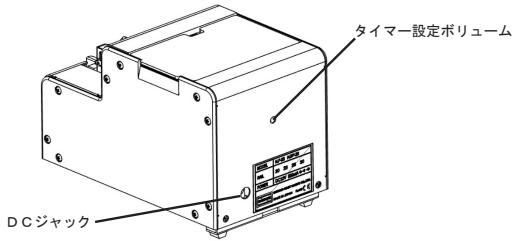
掬い室蓋を取り去ります。
掬い板が下方に下がりきった状態でレール上面から約３mm程度下まで
使用ネジを入れることができます。
このとき左右の掬い室に平均的に使用ネジを入れるようにします。

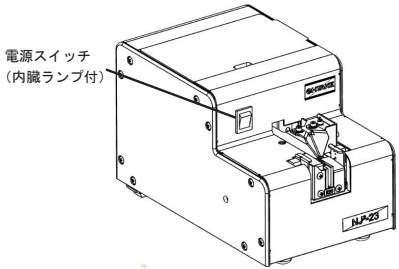


注意　使用ネジの入れすぎに注意してください。

６－２．動作

本機後面のＤＣジャックに付属のＡＣアダプターのプラグを差し込みます。ＡＣアダプターを電源コンセントに差し込みます。
本機の電源スイッチを　ＯＮ　にします。このとき電源スイッチ内臓のランプが点灯します。
掬い板の上下動とレールの前後動が開始します。しばらくすると、取出し方向にネジが順次送られてきます。
ストッパ部分のネジを取出さないと、センサーが感知し本機の動作は停止します。
ストッパ部分のネジを取出すとセンサーが感知し本機は再び動作します。
ネジを入れすぎると可動部に大きな力がかかり、本機の電源スイッチを入れても動作致しません。
その際は掬い室のネジを適量にしてご使用ください。





動作の特徴など

本機は過負荷保護回路を装備しています。

稼動部にネジなどが引っかかった場合、掬い室にネジを多く入れた場合など、動作中に稼動部に過負荷が加わったときに過負荷保護回路が働きます。

動作内容と対処方法

通常は本体の駆動モーターは正常な回転（正転）をして、レール Assy のストッパに使用ネジを送り続け、ネジを取り続けることができます。しかし稼動部に過負荷が加わると駆動モーターは 一定時間逆転し、その後正転に戻ります。

逆転時に稼動部に加わった過負荷の原因がなくなると通常の正転に戻り、ネジを取り続けることができます。

逆転時に稼動部に加わった過負荷の原因がなくならないと、逆転－正転－逆転－正転・・・を一定時間繰り返した後、駆動モーターへの電源を遮断します。

以上のように駆動モーターへの電源が遮断された場合、電源スイッチを ＯＦＦ にし、過負荷の原因を除去してください。

例えば掬い室にネジを多く入れすぎた場合はネジを適量にしてください。

例えば稼動部にネジなどが引っかかった場合はそれを取り除いてください。

過負荷の原因を取り除いた後、電源スイッチを ＯＮ にして本機を使用してください（電源リセット）。

本機はタイマーを装備しています。

ネジの種類に応じて適当なタイマー設定にすることができます。

動作内容

使用ネジの種類によってネジの送りスピードにばらつきがあります。

本機はレール Assy のストッパにネジがないときは動作継続し、

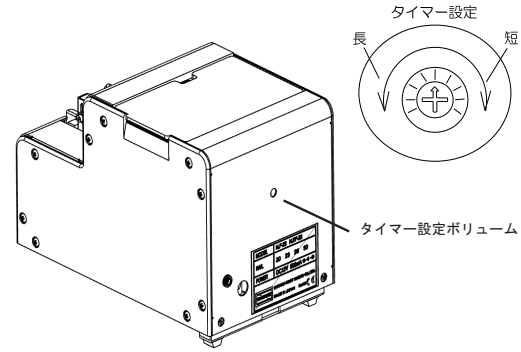
ネジがストッパに保持されて一定時間の後、動作を停止します。

この時間を本機後面のタイマー設定ボリュームで設定できます。

使用ネジの送りスピードが速い場合は、タイマー設定を短くし、

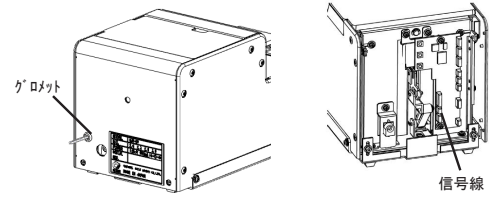
使用ネジの送りスピードが遅い場合は、タイマー設定を長くすることをお勧め致します。

調整時にボリュームは回転可能範囲を超えて回転させないでください。



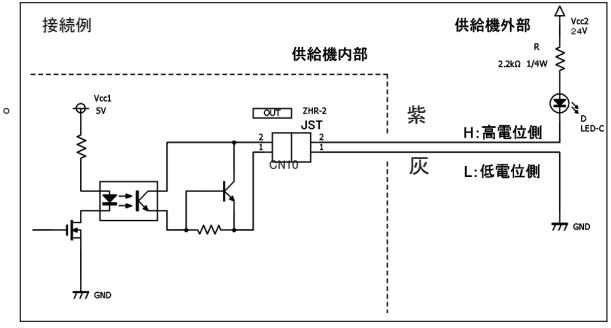
本機には外部出力用の信号線があります。

本機はねじ取出しの信号を取り出すことができます。
汎用カウンター等との接続にご利用ください。
信号線は内部に収納されていますので、ご使用になる際は、
カバー後を外してグロメットより信号線を引き出して下さい。



［仕様］ネジ取出し時　　ON（約 0.2 秒間）
　　吸込み電流 max 100mA 以下になるように
　　固定抵抗等で電流制限をかけてください。
［定格］直流電流 max 100mA
　　外部印加電圧 5 ～ 24VDC（max 27VDC）
［注意］信号線の長さは 3m 以内としてください。
　　C 側（信号線紫色）を高電位、
　　E 側（信号線灰色）を低電位にしてご使用ください。

紫色の線ーーー＞信号線（通常 OFF）
　　（ネジ取出し時 ON）
灰色の線ーーー＞コモン線

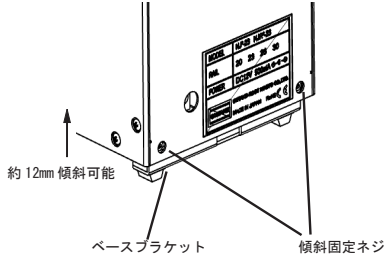


本機には傾斜設置機構があります。

ネジの送りスピードが遅い場合に本機を傾斜設置にします。

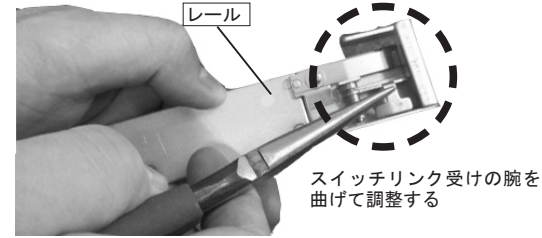
内容

傾斜固定ネジをゆるめます。
本機後方に設置しているベースブラケットを引き出し、適当な位置で固定します。
傾斜後、ぐらつきがないようにしてください。
傾斜は本機の傾斜機構以上にしないでください。



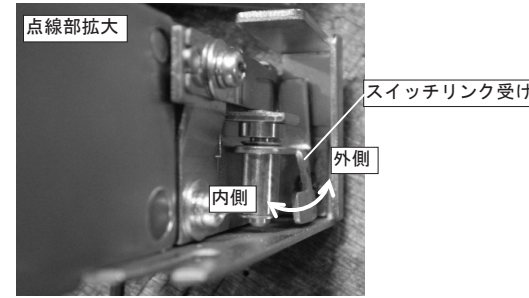
カウント感度調整方法

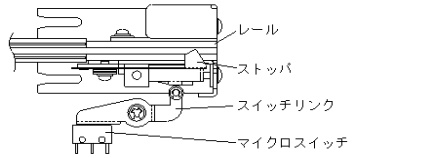
外部出力信号は、レールのストッパの動きを検知して出力しています。カウントにばらつきがある場合や、レールを交換した際には、レールのスイッチリンク受けの角度を調整してください。



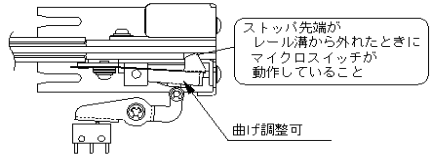
通常はマイクロスイッチが押された状態です。
ネジを取り出すときにストッパが開くと腕がスイッチリンクのローラを押しマイクロスイッチが動作します。

ラジオペンチ等でスイッチリンク受けを挟み、曲げ具合を調整し、レールからねじを取り出した時のストッパの動きでマイクロスイッチが動作するような角度に調整して下さい。
カウントがされにくい場合は、外側に開くようにします。
開きすぎてカウントされなくなった場合は、少し内側に戻します。

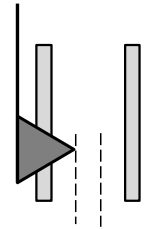




ねじ取出し待機時



ねじ取出し動作時

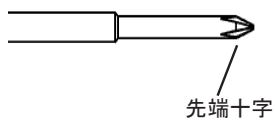


ストッパがレール幅の 2/3 まで開いたときにマイクロスイッチが動作することが理想です。
使用ねじや実際の取出しに合わせて調整してください。

6－3．ネジの取出し

電動ドライバーには、ネジの呼び径にあったビットを付けてください。以下を推奨致します。

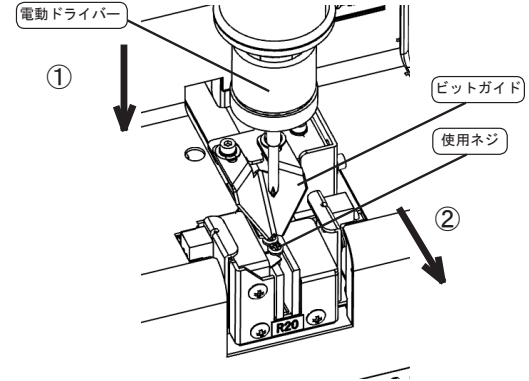
ビット形状



規格	ネジの呼び径	ビット先端十字No.
JIS 小ネジ	φ2.0	No.1/No.2
	φ2.3	No.1/No.2
	φ2.6	No.1/No.2
	φ3.0	No.1/No.2
	φ3.5	No.1/No.2
	φ4.0	No.2
	φ5.0	No.2

電動ドライバーのビットは着磁させて使用してください.

電動ドライバーのビットを垂直にし、ビットガイドのV溝に沿って
一瞬ビットを回転させながら垂直方向に降ろし、ネジ頭十字穴に
ピットをかみ合わせます。
電動ドライバーを降ろしきると、レールの前後動がとまります。
電動ドライバーを垂直にしたまま手前に引き、ネジを取出します。
ドライバーを降ろすときには過度な力を与えないでください。
ドライバーを降ろすときには過度な衝撃力を与えないでください。
ドライバーを適当な力で降ろしますとレールの前後動が止まります。
これ以上電動ドライバーは降ろせませんから、
無理な力を与えないでください。



7．メンテナンス

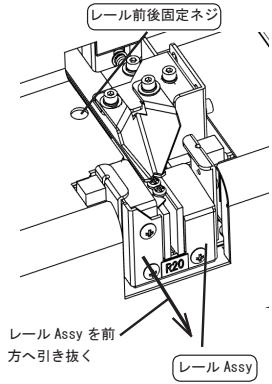
注意 電源スイッチを ＯＦＦ にして作業をしてください。
本機体内部の使用ネジをすべて排出し、作業をしてください。

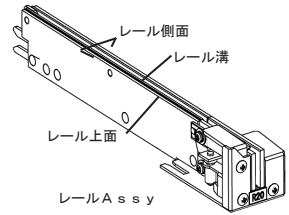
7－1．レールとレールガイド壁面の清掃

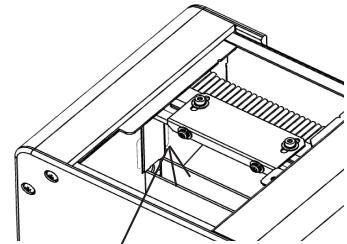
レール溝が汚れると使用ネジの送りが遅くなる場合があります。そのときはレール溝をアルコールをしみこませたきれいな薄い布で拭き取ります。

汚れがひどいときはレールＡｓｓｙを取外して清掃します。
レール前後固定ネジをゆるめ、レールＡｓｓｙを手前側に抜き取ります。
抜き取ったレールＡｓｓｙのレール溝、上面及び側面をアルコールをしみこませたきれいな薄い布で拭き取ります。
抜き取った後のレールガイド壁面をアルコールをしみこませたきれいな薄い布で拭き取ります。

清掃が終わったら、レールＡｓｓｙを取り付け、レール前後固定ネジを締めます。
ビットガイドとレールの位置は 4-5 項を参照し、調整してください。







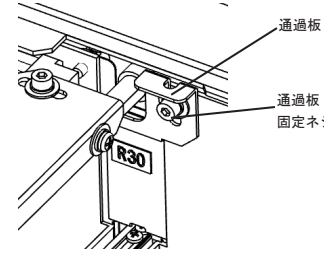
7－2．交換

○ レールＡｓｓｙの交換

本機はレールＡｓｓｙの交換が簡単にできます。
清掃してもネジの流れが悪いとき、また別の呼びのネジを使用したいときはレールＡｓｓｙを交換します。
交換方法は前述の清掃方法を参照してください。

○ 通過板の交換

本機は部品を交換して使用ネジの呼びを変更することができます。
（本体種類のなかでの呼びを変更可能）
使用ネジの呼びを変更する場合、レールＡｓｓｙと共に通過板を交換します。
通過板は通過板固定ネジをはずして交換します。
刷毛が右図の位置になるようにして交換してください。
固定ネジはなくさないように注意してください。

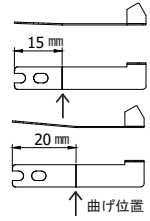


○ ストッパの交換

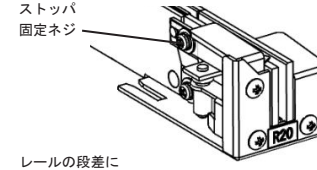
レールのストッパ先端が摩耗・変形したりして取出しに支障が出るようになった場合は、
別売りのストッパをご注文の上交換をお願いいたします。
レールサイズによって形状が異なりますのでご注意ください。

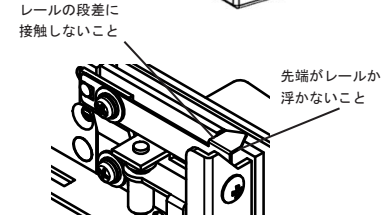
部品番号　M2 ～ M3 用　　ストッパ：M2.0-3.0　NJ06075

M3.5 ～ M5 用　ストッパ：M3.5-5.0　NJ06076



ストッパ固定ネジを外して交換します。
取り付けるときは、ストッパの先端がレールから浮かないようにして下さい。
取出しが重いときや軽すぎるときは、お好みに応じて手で曲げ具合を調整して下さい。





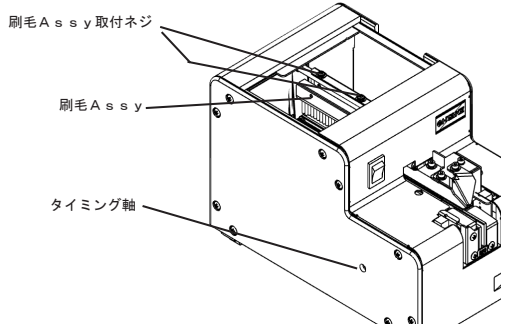
○ 刷毛の交換

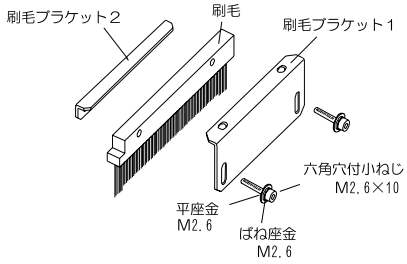
刷毛の毛先が摩耗して異常姿勢のネジを掃き取れなくなったら、新しい刷毛と交換してください。

刷毛位置を下図のようにします。タイミング軸を回して位置調整することができます。

刷毛Ａｓｓｙ取付ネジをはずし、刷毛Ａｓｓｙをはずします。刷毛Ａｓｓｙはさらに各部品に分解できます。

刷毛 Assy を組み込み、高さを調整します。(4-2 参照)





刷毛Ａｓｓｙ 組立図

部品図番：NJ02005a #02

以上の交換部品はすべて別売品になっています。交換の必要があれば本体型式・部品名・部品型番を販売店まで指定してください。

本体種類	本体型式	ネジ呼び	レールセット型番	レール型番	通過板型番
NJ-23	NJ-2320	φ2.0	R20SET	R20	W2320
	NJ-2323	φ2.3	R23SET	R23	W2323
	NJ-2326	φ2.6	R26SET	R26	W2326
	NJ-2330	φ3.0	R30SET	R30	W2330
NJ-45	NJ-4535	φ3.5	R35SET	R35	W4540
	NJ-4540	φ4.0	R40SET	R40	
	NJ-4550	φ5.0	R50SET	R50	W4550

注）本体種類の中で、本体型式を変更することができます。
交換用レール、交換用通過板は別売品です。
レールセットには、レールAssy, 通過板が含まれています。

注）

・本体種類の中で本体型式を変更することができます。
・使用ネジの呼びを変更する場合は左の交換用各部品を変更してください。
・交換用レール・交換用通過板・交換用刷毛は別売品です。

8．修理を依頼する前の確認

⚠注意 電源スイッチを OFF にして問題の対処をしてください。

病　状	原　因	対　応
7－1 電源スイッチを入れても動かない	・電源が供給されていない ・ストッパ部のネジを一定時間取り出していない。	・ACアダプター電源接続を確認する。 ・ストッパ部のネジを取り去る。 タイマー設定ボリュームを調整する。
7－2 ネジが流れてこない。	・レールAssyの規定呼び径と異なる呼びのネジを入れた。	・使用ネジにあった本体型式を使用する。 ・使用ネジにあったレールを使用する。
	・掬い室のネジの量が少なくなっている。	・ネジを適量、掬い室に入れる。
	・通過窓部分に異常姿勢のネジが刷毛で掃ききれない。	・刷毛を調整する。 通過板を調整する。 掬い室にネジを適量入れるとよくなるときがあります。
	・通過窓にネジ軸部が入り込んだ。	・異常姿勢のネジを取り除いて、通過板を調整する。
	・レール途中でネジが異常姿勢で止まっている。	・異常姿勢のネジを取り除く。 方法 ビットガイドAssy固定ネジを緩めます。 押さえ板（ネジガイド1）を上方向に移動させます。 異常姿勢のネジを取り去ります。 その後、押さえ板（ネジガイド1）を再調整します。
	・レールが振動していない。 （隙間にネジ又は異物が挟まっている） ・タイマー設定ボリュームの調整不良	・隙間にはさまっているネジ又は異物を取り去ります。 ・タイマー設定ボリュームを調整する。

病　状	原　因	対　応
7－3 使用ネジがレールの溝に落ち込んだ	・レールの規定呼び径と異なる呼び径のネジを入れた ・レール溝幅より短い全長のネジを入れた。	・使用ネジにあった本体型式を使用する。 ・使用ネジにあったレールを使用する。 ・対処不能
7－4 レール上のネジの流れが悪い	・押さえ板（ネジガイド1）と使用ネジの頭との隙間が狭い ・レールにゴミ、油脂類が付着している。 ・ネジや異物が隙間に入り、レールが振動していない。	・押さえ板（ネジガイド1）を上方に際調整する。 本機を傾けてみる。 タイマー設定ボリュームを調整してみる。 ・レールとレールガイドを清掃する。 ・異物を取り除き、レール、レールガイドを清掃する。
7－5 ネジが異常姿勢で通過窓を通過しやすい 通過窓にネジの軸部が入りやすい	・通過板の調整不良 ・使用ネジ対応の通過板を使用していない。 ・本機を規定値以上の前下がりの傾斜設置にしている。	・通過板を再調整する。 ・使用ネジに対応した通過板を使用する。 ・規定値以内の前下がり傾斜設置にする。
7－6 ネジがビットガイドの所定の取り出し位置にこない	・レール途中で使用ネジが止まっている。 ・レールAssyの前後調整不良	・ビットガイドAssyを調整する。 ・レールAssyの前後調整をする。
7－7 ネジ頭の十字溝にビットが合いにくい	・前後の位置があっていない。 ・左右の位置があっていない。	・レールAssyの前後調整をする。 ・ビットガイド、押え板の調整をする。

病　状	原　因	対　応
7－8 本機の動きが急に止まる	・過負荷のため、過電流保護回路が働いた。	・再度電源スイッチを入れ直す。 それでも動作がとまる場合は 掬い室のネジが多過ぎる。 ⇒掬い室のネジを適量にする。 ネジや異物が稼動部にはさまっている ⇒はさまっているネジや異物を取り除く
	・ストッパ部のネジを一定時間取り出さなかった。	・ネジを取り出す。
7－9 取り出し部にネジがあっても掬い板の動作が止まらない	・タイマー設定ボリュームの調整不良	・タイマー設定ボリュームを再調整する。
7－10 本機内部にネジが落ちた	・押え板（ネジガイド1）の調整不良 ・レールの前後調整不良	・押え板（ネジガイド1を再調整する。 ・レールの前後を再調整する。

９．主な仕様

専用アダプター （スイッチングタイプ）	入力 :AC100～240V 50/60Hz 出力 :DC15V
寸法	134W X 215D X 139H (mm)
重量	約 3.7kgf
ネジ容量	150cc
添付品	取扱説明書 x1 AC アダプタ x1 六角レンチ x1 調整用ドライバー x1 アース線 x1
設置場所	水平で安定した場所
設置・保管環境	温度:0～40℃ 湿度:10～85% （結露なきこと）
準拠規格	EMC指令 2014/30/EU 機械指令 2006/42/EC RoHS指令 2011/65/EU

注）

・使用ネジの軸径・頭径・頭厚さ・首下長さを測り、下記目安表の範囲内に入っているか確認して下さい。
・適合範囲内であっても、ネジ形状、長さのバランスによっては使用できない場合もございます。
・使用ネジの呼びを変更する場合は左記表に対応した部品に交換してください。
・交換用のレール・通過窓は別売品となります。
・改良のため、予告なくデザイン、性能、仕様等を変更することがあります。
・本機の騒音は 1m 離れた位置で LAeq70dB 以下になります。
・本製品は EU 指令に準拠しています。適合規格は EU 適合宣言書をご確認下さい。

使用可能ネジ目安						ネジ頭部形状					
							なべ頭				
使用ネジの呼び	ネジ軸径 (mm)	ネジ頭径 (mm)	ﾜｯｼｬｰ径 (mm)	ネジ頭厚さ (mm)	ネジ首下長さ (mm)	なべ頭	ｾﾑｽ	ﾀﾞﾌﾞﾙ ｾﾑｽ	ﾜｯｼｬｰ ﾍｯﾄﾞ	ﾊﾞｲﾝﾄﾞ	皿
φ2.0	1.8～2.1	3.0～ 3.5	3.0～ 8.0	0.5～5.5	3.2～18	○	○	○	○	○	○
φ2.3	2.1～2.4	3.3～ 4.0	3.3～ 8.0	0.5～5.5	3.7～18	○	○	○	○	○	○
φ2.6	2.4～2.7	3.6～ 4.5	3.6～ 8.0	0.5～5.5	4.2～18	○	○	○	○	○	○
φ3.0	2.8～3.1	4.0～ 5.5	4.0～ 8.0	0.5～5.5	4.8～18	○	○	○	○	○	○
φ3.5	3.3～3.7	4.8～8.0	4.8～12	0.5～8.0	5.6～18	○	○	○	○	○	○
φ4.0	3.8～4.1	5.4～8.0	5.4～12	0.5～8.0	6.4～18	○	○	○	○	○	○
φ5.0	4.8～5.1	6.2～10.0	6.2～12	0.5～8.0	8.0～18	○	○	○	○	○	○

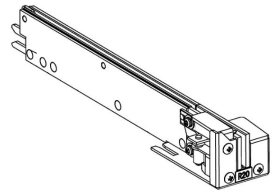
※ワッシャーの厚さ 0.4 ～ 1.0mm まで

本体種類	本体型式	ネジ呼び	レールセット型番	レール型番	通過板型番
NJ-23	NJ-2320	φ2.0	R20SET	R20	W2320
	NJ-2323	φ2.3	R23SET	R23	W2323
	NJ-2326	φ2.6	R26SET	R26	W2326
	NJ-2330	φ3.0	R30SET	R30	W2330
NJ-45	NJ-4535	φ3.5	R35SET	R35	W4540
	NJ-4540	φ4.0	R40SET	R40	
	NJ-4550	φ5.0	R50SET	R50	W4550

注）本体種類の中で、本体型式を変更することができます。
交換用レール、交換用通過板は別売品です。
レールセットには、レールAssy, 通過板が含まれています。
レールをお求めの際には「～ＳＥＴ」の型式でお問い合わせ下さい。

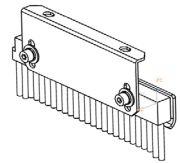
○交換部品

レール

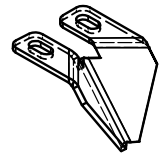


通過窓

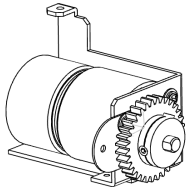
刷毛　Assy：NJ02005 #02



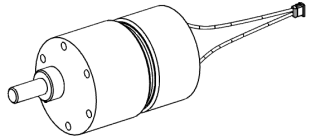
ビットガイド：NJ05016



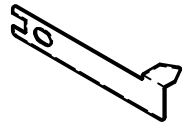
駆動モーターＡｓｓｙ：NJ04500　#01



メインモーター（ﾊｰﾈｽ付）
：NJ09582 #05

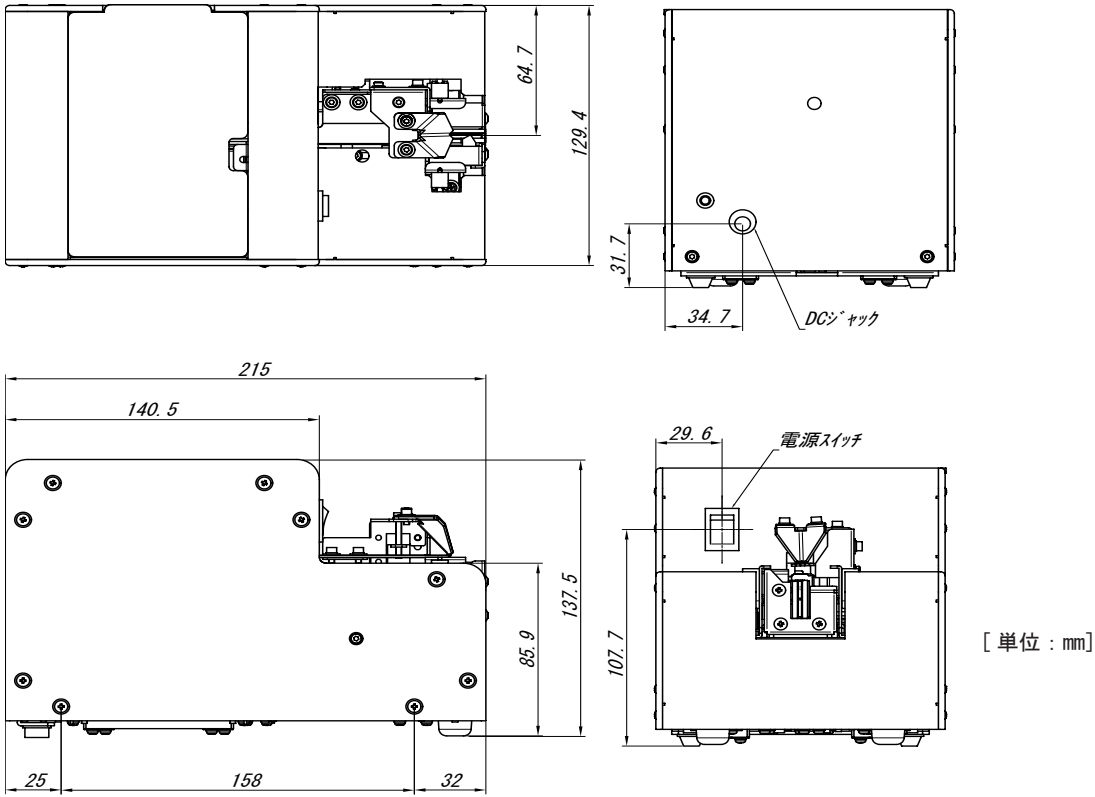


ストッパ



・ｽﾄｯﾊﾟ：M2.0-3.0 用
NJ06075
・ｽﾄｯﾊﾟ：M3.5-5.0 用
NJ06076

１０．外観図


64.7
129.4
31.7
34.7
DCジャック
215
140.5
137.5
85.9
25
158
32
29.6
電源スイッチ
107.7

［単位：mm］

１１．保証規定

日本国内で使用される場合の有効保証期間は、納入後６ヶ月です。日本国外で使用される場合は保証の対象外になります。
ご使用中万一故障が発生した場合は、お買い上げの販売会社までご連絡ください。

ただし、下記の場合は保証期間に関わらず有償扱いとさせて頂きます。

① 取扱い過誤による故障。
② 製品の改造、不当な修理により発生した故障。
③ 天変地異などの不可抗力による故障。
④ 原因が本製品以外に起因する故障。
⑤ 消耗部品（刷毛・モーター・レール・ストッパ・ビットガイド）
及び交換部品（刷毛・レールＡｓｓｙ・通過板）の部品代とその交換作業費。

当社は、本機の補修用部品を販売後、5 年間保有します。

http://www.ohtake-root.co.jp

株式会社 大武・ルート工業
岩手県一関市萩荘字金ヶ崎 27 〒 021-0902
Tel +81-191-24-3144
Fax +81-191-24-3145

OHTAKE-ROOT KOGYO CO.,LTD.
27 Kanegasaki Hagisyou Ichinoseki
Iwate, 021-0902 JAPAN
Tel +81-191-24-3144
Fax +81-191-24-3145

「Quicher」「OHTAKE」「OHTAKE・ROOT KOGYO」is a trademark or registerd trademark of OHTAKE・ROOT KOGYO CO.,LTD.]
「Quicher(クイッチャー)」「OHTAKE」「OHTAKE・ROOT KOGYO」は、株式会社 大武・ルート工業の商標又は登録商標です。

The specification and the design of a product may be changed without a preliminary announcement for improvement.
改良のため、予告なくデザイン、性能、仕様等を変更することがあります。

Photocopy, reproduction or publication of any part of this user's manual without permission, is strictly prohibited by copyright law.
この取扱説明書の一部または全部の無断転載、複製を禁じます。
© Copyright OHTAKE・ROOT KOGYO CO.,LTD.

(as of Apr.2021)
(2021 年 4 月現在)